

都市再生整備計画 事後評価シート  
唐津市中心市街地地区

平成30年3月

佐賀県唐津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県		市町村名	唐津市		地区名	唐津市中心市街地地区			面積	142ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,300.3百万円	国费率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	公園(舞鶴海浜公園整備、北城内児童公園多目的トイレ設置)、地域生活基盤施設(旧大島邸復原整備(広場・緑地))、高質空間形成施設(松浦河畔緑地バリアフリー)、既存建造物活用事業(旧大島邸復原整備(建物))									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(空き店舗チャレンジ誘致事業、障害者支援の拠点施設等整備事業、唐津城展示施設改修事業)、まちづくり活動推進事業(歴史的資源調査発掘事業、空き店舗チャレンジ誘致事業、まちなか周遊促進事業、城内地区、曳山通り景観形成基準・ガイドライン策定事業)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(旧大島邸復原整備(広場・緑地))			旧大島邸利用者の駐車場を当初、隣接している南城内駐車場を想定していたが、設計段階で賃借駐車場であり大島邸駐車場としては不適であり、また工事車両等の進入の際に北側の土壌を取り壊す必要があったため、公園予定地を大島邸駐車場と変更したため。			影響なし			
			提案事業	地域創造支援事業(唐津城展示施設改修事業)			唐津城天守閣及び展示施設の一体的な改修整備を行うため			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成25年度～29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	中央商店街通行量(平日・休日)	人/日	9,072	H24	9,450	H29		6,573	△	あり なし ●	高質空間の形成により、中心部の呉服町の環境整備が行われたことで、市街地の魅力が高まったものの、商店街の通行者の減少を食い止めることができなかった。  唐津城天守閣の改修休館(約10ヶ月)で入場者が減少、8月は開業効果による入場者の増加が見られるものの、以降はほぼ例年並で推移している。	平成30年4月
	指標2	観光文化施設入場者数	人/年	271,865	H23	357,200	H29		224,248	△	あり なし ●		
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	空き店舗チャレンジ事業によって、空き店舗を活用した起業が行われるなど、まちづくり活動が活発化しており呉服町通りの空き店舗率も下がっている。城内地区、曳山通り景観形成基準・ガイドライン策定事業により、街並みや景観に配慮した店舗等の相談件数が増加している。障害者支援の拠点施設等整備事業では、来訪者の大幅な増加が見られる。歴史的資源調査発掘事業では文化的価値のある物件が発掘され、佐賀県の登録文化財となっている。地域生活基盤施設では、城内地区と中心市街地地区の観光文化施設相互の物語の連続性など魅力が向上し、街歩き並びに観光客の増加に繋がっている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-							
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							
持続的なまちづくり体制の構築	唐津市まちなか再生推進グループ等の活動の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-							
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							

## 様式2-2 地区の概要

唐津市中心市街地地区(佐賀県唐津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 歴史と文化に育まれた城下町の魅力にあふれ、快適な居住環境を備えた中心市街地の形成 (歩きたくなる街なか、住みたくなる街なか、親たくなる街なか) 目標1 安全で快適な歩行者空間の確保とにぎわいのある商業空間づくりによって、利便性の高い安全安心な居住環境を形成し、中心市街地の回遊性の向上と街なか居住を推進する。(歩きたくなる街なか、住みたくなる街なか) 目標2 街なか存在する歴史・文化資源を最大限活用し、城下町の魅力にあふれた中心市街地を形成する。(親たくなる街なか)	中央商店街通行量	単位:人/日	9,072 H24	9,450 H29	6,573 H29
	観光文化施設入場者数	単位:人/年	271,865 H23	357,200 H29	224,248 H29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



北城内児童公園多目的トイレ設置



南城内駐車場整備



旧大島邸復原整備



舞鶴海浜公園整備



松浦河畔緑地バリアフリー化



市道呉服町線整備

まちの課題の変化  
 地域生活基盤施設や高質空間形成施設整備、既存建造物活用事業により、街なかの魅力向上や利便性の向上につながっている。また、地域創造支援事業による唐津城天守閣の改修により、観光文化施設の入場者数も増えている。  
 今後は、整備された拠点間の回遊性を向上させるための施設間の連携強化や体験プログラムなどのソフト面の事業の構築が課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)  
 ・唐津城周辺及び市街地中心部との回遊性向上、ネットワーク強化(唐津城、旧大島邸、南城内駐車場)  
 ・商店街の店舗での体験プログラムや回遊イベントなどのソフト事業の強化  
 ・(旧大島邸)耐恒察の顕彰の場として、郷土歴史の顕彰や人材の育成。お茶、花、着物などの和文化を活用し、市民の文化レベルの向上並びに唐津市の文化イメージの向上。市民交流の場としての活用。